

『 楽しい学校(楽校)の創造をめざして 』

～算数科において基礎基本の定着を図り、活用する力を身に付けた児童の育成をめざす～

I 研究の内容

1. 研究仮説

算数科において、基礎基本の定着を図り、思考する場面や表現する場面を仕組むならば、児童に活用する力が育まれるであろう。

2. 研究の具体的内容

(1) 授業実践 一人一実践

先進校の研究を参考にし、算数科において、各学年、身に付けた知識・技能を活用していくことを重視した授業を実践する。授業公開を行い、なるべく全員が参観し、相互の授業改善の機会とする。

(2) 学習会

夏季休業中に、児童の実態把握に関わる学習会を行った。Q-Uアンケートの読み取りやK-13法による事例検討の仕方を学ぶことができた。日常の実践に役立つ内容であった。

『Q-U活用の学級経営について』

講師 山梨県総合教育センター主幹・研修主事 佐藤 丈先生

(3) 児童の実態の把握

全国学力・学習状況調査・山梨県学力把握調査・知能検査の結果や学級力向上プロジェクトの取り組み、Q-Uなどを活用しての実態把握により、児童の現状の課題を的確につかみ、学級集団づくりに生かしていく。

(4) 学習規律・習慣の確立

家庭と連携しながら、「三富小学校の学習のきまり」の中の〔基本的な学習習慣〕〔基本的な学習用具〕の習慣化、家庭学習の定着を目指して、各学年の発達段階に応じた取り組みを進めていく。家庭学習の質の向上、定着ができていない児童についての手立てを全体で考え、取り組んでいく。

II 成果と課題

1 成果

(1) 活用学習は、昨年度に引き続いての取り組みであり、児童も三段階思考法にも慣れて、学習活動がスムーズに行うことができた。継続して取り組むことで、筋道を立てた思考ができるようになってきている。活用問題に取り組みせる際に有効な指導法を研究することによって、児童の思考力・判断力・表現力を伸ばせることを確認することができた。

(2) 佐藤丈主幹・研修主事（総合教育センター）を招聘して、Q-Uの理論研究ができたことは、有意義であった。Q-Uアンケートの読み取りやK-13法による事例検討の仕方を学ぶことができた。Q-U活用の学級経営について学んだことを、学級力向上プ

プロジェクトの取り組みとも関わらせていく上でも大変参考になった。

- (3) 算数科において、既習事項を活用して課題解決をする場面を意図的に取り入れた授業を実践することができた。活用学習で、「まず」「次に」「最後に」などの言葉を使用して発表や説明する場面を仕組んだ授業を行うことにより、児童が順序立てて考えることや説明の順序立てが身に付いてきている。また、活用学習以外のいろいろな場面で、三段階思考法を生かした思考や発表が見られるようになった。
- (4) 学級力向上プロジェクトの取り組みでは、「どんな学級がよいですか？」を考えることで、児童が自分自身や学級を見つめる機会になった。また、掲示した物を見ながら、互いに注意し合ったり、認め合ったりする児童の姿が見られた。学期毎にアンケートを実施したことで、児童が自分たちの状況を見つめる機会になり、クラスをよりよくしようとする気持ちが高まった。
- (5) 家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化に取り組んできた。その結果、宿題に加えて、家庭で用意した市販のドリル、自学専用ノートなどに漢字・計算練習を毎日する児童も見られるようになった。

2 課題

- (1) 既習事項を活用して課題解決をする場面を意図的に織り込んだ授業を実施したが活用の基となる基礎の力（既習事項の定着）を一番に押さえない。基礎基本の定着には、継続して繰り返し取り組んでいく必要がある。
- (2) 教科書だけでは、活用問題の数が少ない。多様な問題の中から、その児童の課題に合った問題が選べるようになるとうい。自分の考えを発表する際に、三段階思考法の表現の型を用い、順序立てて説明させる指導を継続すると共に、引き続き他教科でも意識して取り組んでいく。
- (3) 本校児童は、学習への取り組みの態度、書く力、読む力などに、落ち込みがあるように思われるので、笛川小での引き続いての指導が望まれる。
- (4) 家庭学習の習慣化については、児童の意欲付け、家庭学習内容の具体的な提示、定着ができていない児童についての手だてを家庭と連携しながら、取り組んでいく必要がある。

Ⅲ 成果物

1 一人一実践授業学習指導案及び資料

- | | | |
|----------|-------------------------|-------|
| (1) 第1学年 | 算数「どんなけいさんになるのかな？」 | 平塚すみり |
| (2) 第2学年 | 算数「計算を考えよう」 | 加々美教子 |
| (3) 第4学年 | 算数「わり算の筆算を考えよう」 | 野尻政彦 |
| (4) 第5学年 | 算数「直方体や立方体のかさの表し方を考えよう」 | 堀内友貴 |
| (5) 第6学年 | 算数「円の面積の求め方を考えよう」 | 藤波 貴 |
| (6) 特別支援 | 算数「計算のしかたを考えよう」 | 古屋美知子 |

2 その他の成果物（主なもの）

- (1) 学習会に招聘した講師にご提供いただいた本校校内研究に関わる資料

(研究主任 加々美教子)